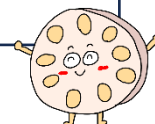




○経営方針 **あいさつとありがとうで あったかい学校に**

～ 子どもと向き合い、家庭に寄り添い、地域とともにある学校をめざして ～

【スローガン】「大好きな学校に・大好きな家庭に・大好きな地域に」



子は親の鏡

ドロシー・ロー・ノルト

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる
かわいそうな子だと言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる
子どもを馬鹿にすると、引っ込み思案な子になる
親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる
叱りつけてばかりいると、子どもは、自分は悪い子なんだとってしまう

励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
広い心で接すれば、キレる子にはならない
誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
見つめてあげれば、子どもは、がんばり屋になる
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
やさしく、思いやりを持って育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世はいいところだと思えるようになる

子は親の鏡



日本にも「子どもは親の背中を見て育つ」という諺がありますが、子どもにとって親（家庭）は人格を形成する上で大切な存在です。子どもの成長を足し算で考え、存在そのものを認める言葉を投げかけていくことによって、子どもは「自分はこの世に生まれてきてよかった」と感じることはできるのではないのでしょうか。

6月の『陽だまり』



「面倒見がよい」という愛宕小の子どもが持つよさを生かしたいと考え、異学年交流を目的とした「縦割り班活動」を始めました。初回の顔合わせの会では、六年生を中心に自己紹介をして、次回に行う全校遊びの内容について話し合いました。今後は、全校集会や縦割り掃除を通して、縦のつながりを深めていきたいと思います。